



全老健第 22-528 号
平成 23 年 3 月 18 日

民 主 党 幹 事 長
岡 田 克 也 殿

社団法人全国老人保健施設協会
会長 川合 泰



「東北地方太平洋沖地震」による被災施設に対する医薬品類の供給と 人工透析患者の受け入れ等に関する提言

既にご周知のとおり、今般の「東北地方太平洋沖地震」では、今なお大きな余震がつづいており、被災地の当会員施設では、物資の不足等により、介護サービスの提供に支障をきたしている状況です。

特に、私ども介護老人保健施設では、医療を必要とする要介護高齢者が多数入所しており、医薬品の不足等はご高齢な入所者にとって、生死に直結する重大問題です。

1. 被災施設等に対する医薬品類の供給に関する提言

介護老人保健施設をはじめとする介護保険施設や避難所で避難生活を送る方々のなかでも、特に要介護高齢者には日常的に医療が必要なご利用者が多くおられます。医薬品類については、添付別紙のような点滴用薬剤、内服用薬剤等が不可欠です。

物流が不安定な現時点で、これらの医薬品類を全て供給する体制を整えるには、更なる時間を要することと思われませんが、まずは以下の【被災地で緊急に必要な医薬品類】の円滑な供給について尽力いただくよう、日本製薬工業協会 長谷川閑史会長宛に、添付別紙のような要望書を提出いたしましたので、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

■被災地で緊急に必要な医薬品類

1. 抗生物質 : 点滴用薬剤、経口(内服)用薬剤 各種
2. 輸液用補液剤 : 細胞内液、細胞外液 等
3. 生理食塩水
4. 抗インフルエンザ薬: 現在、福島地方ではインフルエンザが流行しつつあるとのことです。「イナビル」ですと、1回の服用で済む為、非常に効率的です。

2. 人工透析を必要とする患者への対応に関する提言

人工透析を要する患者への対応については、透析患者を受け入れる側の医療機関の処理能力に限界があるのが実情です。

通常、人工透析には5時間程度を必要とします。更に被災地からの患者を受け入れるためには、一般患者に対する透析治療の時間を削ることで、新たな被災者の受け入れ態勢を整えているものと考えられます。

さらなる透析患者の受け入れにあたっては、被災地域の近郊に留まらず、全国規模で人工透析患者の受け入れ先を募るなどの対応を行なうことが必要です。

以上

被災地域に必要な薬剤リスト

■点滴用薬剤

- 抗生物質
- 輸液用補液剤
- 注射用ステロイド剤
- 昇圧剤
- インスリン製剤
- ぜんそく治療薬
- その他

■内服用薬剤

- 抗生物質
- インフルエンザ薬
- 抗インフルエンザ薬 (イナビル等)
- 甲状腺ホルモン剤
- ステロイド剤
- その他ホルモン剤
- 糖尿病薬
- ぜんそく薬
- 高血圧薬
- 抗不整脈薬
- 精神安定剤・睡眠薬
- 抗潰瘍薬
- 抗炎症薬・疼痛・解熱薬
- 抗血栓剤・ワーファリン
- 便秘薬
- パーキンソン病治療薬
- 抗てんかん薬

■胃ろう用流動食

■外用薬、その他